



元誘拐犯と、その被害女兒。  
——許されないふたり。

UNO.FILMS PRESENTS  
A Youshide Uno Company

るろう  
**流浪の月**

広瀬すず 松坂桃李  
横浜流星 多部未華子

監督・脚本：李相日 原作：風良ゆう「流浪の月」（東京創元社刊）



5月13日（金）ロードショー



©2022「流浪の月」製作委員会

本屋大賞受賞の傑作小説 × 監督：李相日が贈る、ある「愛」のかたち。 **GAGA★**





本屋大賞受賞の傑作小説を、  
『悪人』『怒り』の李相日監督が映画化。

女兒誘拐事件。——ふたりしか知らない、あの夏の〈真実〉。  
広瀬すず×松坂桃李で贈る、“許されないふたり”の宿命は、愛よりも切ない。

帰れない事情を抱えた少女・更紗と、彼女を家に招き入れた孤独な大学生・文。  
居場所を見つけた幸せを噛みしめたその夏の終わり、文は「誘拐犯」、更紗は「被害女兒」となった。  
15年後。偶然の再会を遂げたふたり。それぞれの隣には現在の恋人、亮と谷がいた。

『悪人』で善悪の境界を朧にし、『怒り』で信じることの困難を世に問うた監督・李相日。  
人間存在を極限まで掘り下げ、観る者の心をこれまで感じたことのない感情で揺さぶり続ける李が、  
待望の新作として選んだのは、2020年本屋大賞受賞の風良ゆうのガラスのように繊細な物語。

更紗役に広瀬すず、文役に松坂桃李という現日本映画界をリードするふたりを迎え、  
横浜流星、多部未華子が新境地に挑む。

彼らの心象を叙情を込めて映し出すのは、  
『パラサイト 半地下の家族』『バーニング 劇場版』を手掛けた  
韓国映画界のレジェンド、撮影監督ホン・ギョンピョ。

世界の片隅で生きるふたりの物語が、  
息が止まるほどの感動と深い共鳴であなたを包む。

原作：風良ゆう「流浪の月」（東京創元社刊）  
2020年本屋大賞受賞作

監督・脚本：李 相日『フラガール』『怒り』『悪人』  
撮影監督：ホン・ギョンピョ『パラサイト 半地下の家族』

広瀬すず『怒り』『三度目の殺人』『ちはやふる』  
松坂桃李『船年』『孤狼の血』『新聞記者』  
横浜流星『きみの瞳が問いかけている』  
多部未華子『アイネクライネナハトムジーク』

製作幹事：UNO-FILMS  
共同製作：ギャガ、UNITED PRODUCTIONS 配給：ギャガ  
©2022「流浪の月」製作委員会  
原題：流浪の月/2022年/カラー/ビスタ/5.1ch/デジタル

[gaga.ne.jp/rurounotsuki/](http://gaga.ne.jp/rurounotsuki/)  
@rurounotsuki @rurounotsuki



5月13日(金)ロードショー